
1. 一般教育科目とは

一般教育科目とは、専門科目の枠を超えて、幅広い知識・教養・技法を身につけることを目的にした科目である。一般教育科目は、大学の学問への入門として、専門科目を学ぶための基礎をつくり、また専門科目と並行して学ぶことによって、広い視野から総合的に判断する力を養う。その点で、一般教育科目は本学の教育理念にある「総合的な分析・判断能力」の養成や、「人間性豊かな人材」の育成にとって不可欠なものである。そして一般教育科目を学ぶ中で、自分の生き方や将来の職業を考え、キャリア科目の履修とあわせて、就職活動の準備もできるであろう。

一般教育科目の中には、英語や文学、歴史や地理、数学や物理や生物など、高校までに学んだ科目も含まれている。しかし、大学の一般教育科目は高校までの学習とは大きく異なる。一般教育科目では、各分野の専門の教員が最新の研究成果に基づきながら、大学生に知ってほしい内容を選んで、基本的な内容から最先端の研究のトピックスまで、分かりやすく講義する。各科目を学ぶことによって、これまでの常識がくつがえったり、新たな視点から考えたり、もっと専門的に学びたいことも発見できる。そのような大学時代の経験が、社会人になっても生涯にわたって学び続ける意欲と習慣を培うことであろう。

大学の学修では、意欲や関心をもち、自分の頭で考え、積極的に発表し、討論に参加して主体的に学ぶことが重要である。一般教育科目の学修は、そのような大学での学び方を身につける第一歩となる。

2. カリキュラムの特色

本学の一般教育科目は、「語学」「言語圏研究」「人間・文化研究」「歴史・社会研究」「自然・環境研究」「健康・スポーツ研究」「情報とAI・データサイエンス研究」という7つの群と「基盤教育科目」「後期教養教育科目」「自由選択科目」からなり、それぞれに多彩な科目を配置している。

「語学」「言語圏研究」群はグローバル化の時代に必要な外国語を身につけ、異文化理解に必要な科目である。「人間・文化研究」「歴史・社会研究」「自然・環境研究」の各群は、人文科学・社会科学・自然科学から現代的な教養として必要な知識を修得する科目である。「健康・スポーツ研究」群は身体の健康を増進し、スポーツに親しむ知識と実践のための科目である。「情報とAI・データサイエンス研究」群は情報化時代に必要な知識と技能を身につける科目である。「基盤教育科目」にはスタディスキルズ、「後期教養教育科目」「自由選択科目」には教養演習などが含まれる。

一般教育科目から、卒業要件として30単位以上を修得しなければならない。7つの群から学部ごとに定められた最低必要単位を修得するとともに、7つの群と「基盤教育科目」「後期教養教育科目」「自由選択科目」を含めて、卒業単位を満たすように選択することが必要である。その際、各群にわたって幅広く選択することも可能であり、逆に特定の分野から集中的に多くの科目を選択することも可能である。一般教育科目からどの科目を選択するかについては、学生の自主性が尊重される。そして興味や関心をもって意欲的に学ぶことが期待される。

3. 群のテーマと科目構成

「語学」群

英語を必修として、ドイツ語・フランス語・中国語・コリア語・スペイン語を設置している。これらの外国語の学修を通して、生きたコミュニケーション力を身につける。

「言語圏研究」群

グローバリズムの現代において、異文化理解は重要な教養の一つである。単に外国語学修の延長としてではなく、国際社会で理解しておかねばならない多様性を学ぶ。

「人間・文化研究」群

人間とは何か、人間の築いた文化とは何かといった課題に対し、哲学、心理学などの各専門分野から、それぞれ独自のアプローチを行う。

「歴史・社会研究」群

社会とは何であり、どのように発展してきたのかについて日本史、西洋史、東洋史を学ぶ。また、現代の社会について、法、政治、経済の各専門分野からそれぞれ独自のアプローチを行う。

「自然・環境研究」群

自然の本質、生命とは何か、科学と人間社会との関わり、環境問題などを学ぶ。理科系科目が苦手な学生でも理解しやすいように工夫されている。また、専門科目でも利用される統計や数学についても学ぶ。

「健康・スポーツ研究」群

健全な心身を維持するためにスポーツがいかに貢献しえるかを科学的にかつ実践的に理解する。また、これからのライフスタイルを設計していく上で欠かせない生涯教育（生涯スポーツ）の分野についても十分な理解を深める。

「情報とAI・データサイエンス研究」群

AI や IoT、データサイエンスなど高度情報技術の進展により、社会は加速度的に変化している。Society5.0 社会を生き抜く上で求められるこれらに関する基本的な知識と理解を身につける。

「基盤教育科目」群

学生生活を充実させるために、学びの土台を構築する。主に「レポート・論文などの文章技法」「プレゼンテーションやディスカッションなどの口頭発表技法」「論理的思考や表現」について理解を深める。

「後期教養教育科目」群

一般教育・各学科科目での学びによる蓄積をふまえ、大学生活の後期に実社会で力を発揮する教養を学ぶ。

「自由選択科目」群

未来と社会を学ぶ、ボランティア実践、教養演習、諸課程導入科目など多様な科目が配置されている。

4. 卒業必要単位数

一般教育科目における卒業に必要な単位数は、合計30単位である。

卒業までに各科目群から、下記のとおり必要な単位を修得しなければならない。

<経済・経営・総合情報学部学生の場合>

「語学」群	(4単位)
「言語圏研究」群	(4単位)
「人間・文化研究」群	(4単位)
「歴史・社会研究」群	(4単位)
「自然・環境研究」群	(4単位)
「健康・スポーツ研究」群	(4単位)
「情報とAI・データサイエンス研究」群	(6単位)

+

「基盤教育科目」群
「後期教養教育科目」群
「自由選択科目」群

合計30単位以上

<国際学部学生の場合>

「言語圏研究」群	(4単位)
「人間・文化研究」群	(6単位)
「歴史・社会研究」群	(6単位)
「自然・環境研究」群	(4単位)
「健康・スポーツ研究」群	(4単位)
「情報とAI・データサイエンス研究」群	(6単位)

+

「基盤教育科目」群
「後期教養教育科目」群
「自由選択科目」群

合計30単位以上